

254 日本文字-かな文字・漢字の読み取り負荷時

の局所脳活動の変化について

上村和夫、藤田英明、Ian Sam、菅野 嶽、三浦修一、
村上松太郎、宍戸文男、犬上 篤（秋田脳研放射線科）

¹⁵O標識水静注法とsubtraction法を用いて、かな文字と漢字読み取り負荷時の脳局所活動を調べた。現在、対象は成人4例で、PET装置前に置いたCRT上に表示した文字を読みとらせる。対照は視線固定用のパターン表示で、対照-かな-漢字-対照-かな-漢字-対照の順序で測定した。

結果：かな文字と漢字とでは若干異なった部位の賦活が起ころうである。即ち、かな文字では角回が主に賦活されるのに対し、漢字では側頭・後頭葉境界部に賦活がみられ、さらに小脳の賦活も漢字でより著明であった。文字読み取りによる脳の賦活部位の検討は、脳梗塞などでみられる失読との関連で重要である。